

環境負荷低減へ工法等解説 ミラクルソル協会が講習



ミラクルソル協会(原裕理事長)は21日、令和6年度(第27回)技術講習会「写真」を福岡市のアクロス福岡で開催した。環境負荷低減を図れるミラクルソル工法などについて説明したほか、九州地方整備局による特別講演なども実施。約170人が熱心に講習を受けた。

冒頭、同協会の伊藤研治理事は、「今回は九州

地方整備局による特別講演もあるが、講習そのものはミラクルソル工法に関するものだ。協会としては、この工法をもって皆さんのお手伝えられればと思っている。後日にも、詳細等についての連絡をもらえれば幸いだ」と述べた。

特別講演では、九州地方整備局企画部の阿部成二技術調整管理官が

「建設業における最近の話題について」をテーマに行った。九州地整の主要事業などを説明したほか、工事を適正に執行するための勘所をまとめた資料が公表されていることなどを紹介し、働き方改革に向け発注者と受注者双方が抑えるべきポイントを解説した。

工法に関する講習は、急遽欠席した原理事長に代わり、日本建設技術企画開発戦略本部技術研究所の金丸彦一郎副本部長

が、「ミラクルソル工法で環境と防災と陸と海グリーンインフラ」をテーマに実施。近年頻発する大災害などを踏まえ、防災とグリーンインフラを両立するための工法として、環境への負担を軽減できるミラクルソルを実績とともに解説した。

このほか、「多機能材料ミラクルソルの水環境改善における働き」について、協会顧問の荒木宏之工学博士が講習を行った。